

Stage3 The Rainy Day (雨の日)

作・トニー・ブラッドマン
絵・ジョン・スチュアート

< 読むまえに >

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙と裏表紙を見て、この本に書かれていそうなことをお子さんと話しましょう。
- ・お子さんが2ページの天気のことばを読むのを手伝ってあげてください。そしてその意味についてお子さんと話しましょう。

< 読んでいるときに >

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

読みながら単語を指さしてみようと、お子さんに提案してください。

お子さんがつかえたときは、次のようにうながしてお子さんを助けてあげてもいいでしょう:

- ・ことばを声にだしていってごらん。
- ・ここにはどんなことばが合うかな。
- ・絵を見るとわかるよ。

< ひっかかることば >

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

storm 嵐

likes 好き

when とき

having もっている

clouds 雲

blowing ふいている

tiny 小さな

raindrops 雨つぶ

[p. 2]

天気のことば

太陽

雨

嵐

風

[p. 3]

マックスはボタンを押して.....

[p. 4-5]

小さな体になって遊ぶとき、マックスは晴れた日の公園が大好きです。

[p. 6]

きょうはさむくて、あたたかくありません。

[p. 7]

黒い雲がひろがっています。

嵐がやってきます。

[p. 8]

風はつよく、はやくふいています。

[p. 9]

小さなマックスは飛ばされてしまいます。

[p. 10]

空は暗く、

大きな雨つぶがおちてきます。

[p. 11]

これじゃぜんぜん楽しくないとマックスは思います。

[p. 12]

マックスは穴を見つけます。

すてきな、かわいた場所です。

[p. 13]

マックスはその中にかくれます。

嵐がとおりすぎます。

[p. 14]

雨、雨、ごゆっくり。

[p. 15]

マックスは遊ぶところを見つけました。

[p. 16]

このお話を話せるかな？

< 読んだあとで >

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。

こんな質問をしてみましょう：

- ・お話が始まったときの天気は、どんなだったかな？
- ・それから天気はどうなったかな？
- ・マックスはどこに行ったのかな？
- ・お話の最後で、マックスはどんなことを考えていたかな？

この話をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

< ほかにすること >

この本のことをくりかえし話題にしましょう。

お子さんは、今日がどんな天気か絵に描いてもいいですね。

お子さんと童謡の『雨、雨、いっちまえ』を歌ってみましょう。（雨、雨、いっちまえ、またいつかおいで）